

全休符 ——アルフレッド・シュニトケ「レクイエム」の余白に——◇吉田隼人

しゆにとけの鎮魂曲もあをじろきほのほとなりて立つ夢枕

灯もひとつともしておきぬ わがたまのあくがれいづる夜と知りしかば

人びとのたれもはつかにすきとほりつつねむりぬむ みづのこほる音

怒りの日 そはかなしみに肖つつまたかりそめに咲く雷のごとしも

ひえ びえ と とり啼きてありさんぐわつにおくれて花のかへりこむまで

こころあらば焔よりなほもえてあれこよひふる霜かくしろくして

れくぬぬむ ながれよどみてさよふけてやよひのはるのゆきにほふのみ

ノストラダムスチルドレン◇暮田真名

お母さん、給食ワゴン、ありがとう食べ終わるのを待っていてくれて

百年後魚雷であったその指で牛乳パックを逆から開ける

病院と薬局みたいな関係の友達がほしくないですか でっど

問題児／未問題児／不問題児／無問題児／非問題児

包丁になりたい何も切りたくない秘密基地もう作りたくない

元音楽家が集まる老人ホーム 世界の終わりが終われどもまだ

Hi, there. ノストラダムスチルドレン 卵って最小のくす玉

何もない町で君とか好きだった 日焼けの跡がついては消えた

古着屋の窓にかかっていたシャツを君が着てきた半ドンの午後

滑舌が良すぎるラップ曲流しクルージン・ちよつと不埒なフィーリン

グラタンの店が潰れていたせいで喫茶エミーへ（最初で最後）

この町は僕のものだと思ってたGOLDEN呟けば夕焼け

けやき町なんて全国どこにでもあると笑って落ち葉を蹴った

二十年前の地図でも案内ができる 未来の地図でもきつと

ひかりの大きさ◇谷村行海

もう少し飲んでいたら胸焼けになってた私を包む冬空

偶然は何度もあるから偶然であると思えるセブナイレブン

人類でセブンスターをセツタって初めて呼んだ人は嫌いだ

素足では立てない場所が増えたからきしきしいわせて足を動かす

「二番線、ホームに電車が参ります」 一歩進めば光になれた

どろどろのひかりになってだくだくのおじさんたちはホームを走る

終点に近づくたびに減っていく乗客たちと残るぬくもり